

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈4月18日（金）放送分〉

テーマ「世界自然遺産①」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今日は，今年度から新たにはじまる「世界自然遺産」シリーズの第1回目です。

地球上にある自然や歴史ある建物などは，ほうっておくと，風や雨の影^{えいきょう}響を受けたり，人が手を加えたりして，だんだんこわれていってしまいます。そうならないために，みんなでしっかりと守っていくことが大切です。「世界遺産」とは，特に「世界中の人が協力して守ろう」，「守る必要がある」と決められた場所や建物のことです。「世界遺産」には，自然遺産，文化遺産，複^{ふくごう}合遺産の3種類があります。今回，奄美群島を含む琉球諸島が登録を目指しているのが自然遺産です。

世界遺産登録数を見ると，自然遺産は，2014年3月現在で193件あります。ちなみに，世界自然遺産が最も多く登録されているのは，どこの国だと思いますか。それは，アメリカとオーストラリアです。アメリカでは，「グランドキャニオン国立公園」や「ヨセミテ国立公園」など，12の自然遺産が登録されています。オーストラリアには，「グレート・バリア・リーフ」や「シャーク湾」など，11の自然遺産があります。

日本では，1993年12月，様々な気候があり，日本全国の植物が見られる「屋久島」と，豊かなブナ林が広がる「白神山地」が日本で初めて世界自然遺産として登録されました。そして，2005年7月には，大自然の中に独特の生態系をもつ「知床」が加わりました。また，記憶にも新しい2011年6月には，我が国4番目の世界自然遺産として，めずらしい地形や地質が特徴の「小笠原諸島」が登録されています。どの自然遺産もとても貴重なものばかりです。そして，今回，奄美群島が登録されると日本で5番目ということになります。

さて，その世界自然遺産に登録されるためのポイントが四つあります。一つめは「自然美」，二つめは「地形・地質」，三つめは「生態系」，四つめは「生物多^{せいぶつ たようせい}様性」です。まず，「自然美」は，ほかにない自然現^{げんしょう}象や美しさがあること。二つめの「地形・地質」は，地球の歴史や生命の進化の上で重要な地形や地質があらわれていること。三つめの「生態系」は，現在も進行中の生物の進^{せいぶつ}化や生物グルー^{せいぶつ}プの見本となるようなきわめて特徴のあ

る生き物が見られること。四つめの「生物多様性」は、絶滅のおそれのある生物をふくむ
いろいろな生物が共存している状態が保たれた野生の自然があることがポイントとなっ
ています。この四つのポイントの一つ以上に合う、世界的に見てとてもめずらしい価値を
もち、なおかつ、しっかりと保護と管理をしていく体制が整っていることが必要なのです。

今回、奄美群島を含む琉球諸島が当てはまるものは、「生態系」と「生物多様性」です。
大陸とくっついたり離れたりを繰り返して今の姿になった島々の成り立ちを反映して、す
でに大陸では絶滅してしまった生き物が生き残っていたり、それぞれの島で独自の進化を
とげている点です。また、絶滅のおそれのある動植物の生息地や生育地として非常に重要
な地域であることなどもあげられています。

世界遺産は、人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき
「地球の宝物」といえるでしょう。次回は、いよいよ世界自然遺産登録をめざしている奄
美群島を含む琉球諸島についてくわしくお伝えしていきます。県立奄美図書館でも5月下
旬から「世界遺産」コーナーを設置し、関連本の収集はもちろんのこと、パネルや展示物
を使って多くの皆様にPRを行い、世界自然遺産登録に向けて応援したいと考えています。

職員一同、皆様のご来館を心からお待ちしております。以上、鹿児島県立奄美図書館で
した。